

平成 22 年度東三河高大連携フォーラム

平成 23 年 2 月 5 日（土）午後 2 時から

1 開会挨拶 県立豊橋東高等学校長 中川真文

2 事例発表

(1) 豊橋技術科学大学

「豊橋技術科学大学における高大連携の取組」

豊橋技術科学大学 宮田 譲 教授

県立時習館高等学校 後藤智行 教諭

県立成章高等学校 寺田安孝 教諭

(2) 豊橋創造大学

「高等学校に対する情報教育支援について ～人的支援と施設設備支援～」

豊橋創造大学 三好哲也 教授

(3) 愛知工科大学

「東三河高大連携事業 夏季大学体験講義」

愛知工科大学 野中 登 教授 ・ 生徒（蒲郡東）

(4) 愛知大学

「愛知大学における東三河高大連携事業の取組」

愛知大学 浅野俊夫 教授

<休憩>

3 講演会

講師 愛知大学文学部教授 木之下隆夫 氏

テーマ「高校生のメンタルヘルスケア」

4 閉会挨拶 県立国府高等学校長 佐々木俊臣

[講師] 木之下 隆夫 氏

愛知大学 文学部 教授

臨床心理士

出身地：1952年生、鹿児島県

最終学歴：京都大学大学院後期博士課程満期退学

専門分野：臨床心理学、病院心理臨床、私設心理臨床、学校心理臨床、地域支援

研究テーマ：心の病気と健康の間、リエゾン領域に関する研究、学校組織、システム（児童・生徒の心理と教師の関係）の臨床的査定に関する研究、教育と心理臨床的接点に関する研究、

所属学会：日本心理臨床学会、日本心理学会、日本学生相談学会、日本精神分析学会

社会的活動：豊橋市教育委員会スーパーバイザー、愛知県警察本部被害少年カウンセリングアドバイザー、愛知県教育委員会三河地区特別支援教育連携協議会委員長
豊橋市保健所スーパーバイザー、豊橋市男女共同審議会委員長

主な著書・論文

- ・『看護に生かす臨床心理学』 朱鷺書房（共著）2000.8
- ・『学校現場に役立つ臨床心理学 事例から学ぶ』 日本評論社（編著）2001.11
- ・「クラスに悩む子どもたち」 人文書院（編著）2004.6
- ・「医療現場に生かす臨床心理学」 朱鷺書房（共著）2004.9
- ・「日本の心理臨床の歩みと未来」 人文書院（編著）2007.8
- ・「子ども理解を巡る教師と専門家の接点」－理解と指導をつなぐ方法論－
京都大学大学院教育研究科紀要 第54号
- ・「被虐児童のこころの闇」母子の語りと夢
京都大学大学院臨床事例研究紀要 第36号

他 多数